

つつじが丘小学校の ESD 活動

<活動の概要>

- ・当校は、問題解決の資質や能力を育てることを生活科や総合的な学習の時間のねらいの一つと位置づけ、そのなかで、ESDによって「地域の人々・文化・自然に対する目を広げる」ことを目標とし、実践を通して地域に愛着をもち、地域を愛する心の育成を目指している。
- ・地域の「ひと・こと・もの」を教材として取り上げ、そこから生まれた疑問や願いなどを追究していくことで、切実感をもち、追究意欲を継続できると考えた。

・活動の実際

○3年総合的な学習の時間 「変身！大豆くん」

校区にある豆菓子屋さんを招き、豆菓子の作り方や材料となる豆を世界中から購入していることなどを説明していただいた。また、実際に工場で作っている豆菓子に触れ、その種類の多さに驚いているようであった。

これまで自分たちが抱いていた「豆」へのイメージを覆されたことで、豆に対する興味や疑問を抱いた子どもたちは、『世界の豆料理』や『食べられている豆の種類』など自分でテーマを定め、調べ学習を進め、まとめた。

また、学校園で実際に枝豆を育て、収穫し、調理したものを食べる活動も行った。校区は畑が少なく、農作物を収穫する経験がほとんどない子どもたちにとって貴重な経験となったようである。



どんな豆を使っているのかな

○1年生活科 「あきみっけ！あきでなにつくる？」

季節の変化を全身で感じられるよう、子どもたちは校内、そして近くの公園へと秋探しに出かけた。そこで見つけた松ぼっくりや落ち葉、どんぐりなどを使って自分たちで考えた遊びを楽しんだ。その中でも、どんぐりごま作りに熱中した子どもたちは、どうすればよりよく回るこまになるのかを、友達と協力しながら考え、何度も試行錯誤を繰り返し、改良していった。



秋をたくさん見つけたよ

○4年総合的な学習の時間 「守ろう！若葉輝くつつじの丘」

理科の授業では、「わたしの木」を決めて、1年を通して変化する木々の様子を観察した。木の観察を進める中で、校区には「福東緑地」があることを知り、調べてみると、豊橋唯一の緩衝緑地であることがわかった。新幹線が通過するつつじ校区においては、騒音を防いだり、線路の熱をおさえたりするために重要な場所であることがわかった。地域にとって大切な場所であることを知った子どもたちは、緑地の清掃活動を行った。さらには、緑地の役割や重要性について、つつじっ子発表会で地域や保護者に発信した。



公園のごみ拾いをしたよ